

2026.4 – 2026.9  
コースフロー／コースカリキュラム

## グリーントランスフォーメーション

GX は脱炭素と経済成長の両立をめざし産業構造や社会システムを  
変革する取り組みです。この領域では、再生可能エネルギーの導入、  
CO<sub>2</sub>排出削減に関する技術・仕組みの活用、循環型経済の推進などの  
基礎知識と事例を体系的に学びます。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>  
日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2025年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトで  
ご確認ください。  
※オンライン研修または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

# サステナビリティ

企業活動におけるESG(環境・社会・ガバナンス)への対応や、持続可能な開発目標(SDGs)に基づく事業設計、ステークホルダーとの協創を通じた価値創出に関する実践的な知識と視点を養います。

## サステナビリティ

### レベル1

### レベル2

### レベル3

#### New

##### GXE003 eラーニング

サステナビリティ  
トランスマネジメントの  
めざす処と考え方(Aidemy社)

音声有 | 説明文有 | 2.5 時間

- レベル1 : 国内外におけるGXの背景を理解したい方、GXの意味や実現するために企業がすべきことを把握したい方。GXを自分事として捉え行動に移すためのマインドセットやスタンスを身につけたい方。【リテラシーレベル】
- レベル2 : GXの最新動向(国内外の法令や制度、GX実現手法、関連技術等)を理解し自部門で必要な対応を自走したい方。お客さまとのGXに関する対話を通じ自社製品・サービスを提案したい方。部門横断での連携や顧客・地域との協創を通じたGX事業創生の勘所をつかみたい方。【ペーシックレベル】
- レベル3 : 自社または自部門の事業計画/環境行動計画の達成をリードする立場にあって、中核となりGXを推進したい方。顧客提案/事業戦略立案をリードする立場にあって、GX関連の新規事業開発や既存ソリューションにGX要素を付加価値として組み込むことを求められている方もしくは将来必要とする方。【アドバンスレベル】

#### eラーニング コースコード GXE003 New



##### <eラーニング>サステナビリティ トランスマネジメントの めざす処と考え方(Aidemy社)

持続可能性や環境への意識が高まる中、SX(サステナビリティトランスマネジメント)やGX(グリーントランスマネジメント)といった言葉を耳にする機会が増えてきました。企業を取り巻く環境の変化に伴い、サステナビリティ経営はもはや選択肢ではなく、必須の取り組みです。日立の新経営計画「Inspire2027」でも、「持続的」というキーワードが重要視されています。このコースでは、SX、GX、DXの基本的な概念と関係性をわかりやすく解説します。さらに、サステナビリティ経営が求められる社会的背景や、企業競争力にどのように寄与するのかを深く掘り下げています。また、組織がめざすべき理想の姿と、その実現に向けた具体的なアプローチについても触れ、実践的な知識を身につけることができます。この研修を通じて、サステナビリティの重要性を理解し、企業の持続可能な成長に向けた第一歩を踏み出す貴重な機会を得ることができます。日立グループの社員が一丸となり、未来に向けた持続可能な経営を実現するための知識を共に学び、成長していくことを期待しています。あなたもこの変革の一翼を担い、持続可能な未来を築くための第一歩を踏み出しましょう!

**到達目標**

- SX・GX・DXの位置づけや関係性を説明できる。
- 企業におけるサステナビリティ経営の重要性や各部門の役割、サステナビリティ経営を推進するために「共感」のマインドが必要であることを説明できる。

**対象者**

- 各事業分野で中核を担うことをめざしている方、および期待されている方。
- サステナビリティという切り口で顧客企業への提案を推進する営業・事業部などのフロント部門の方。
- サステナビリティ経営を推進する企画部門の方、事業プロセス管理やIR情報開示などを統括するサステナビリティ部門の方。
- 今後、上記の関連部門へ所属、もしくは関連業務を担当することをめざしている方、および期待されている方。

**前提知識**

特に必要としません。

**内容**

- SX・GX・DXの関係性
- サステナビリティ経営が重要な背景
- サステナビリティ経営と生存戦略(バックキャストティングとイノベーション)
- サステナビリティ経営のための戦略と組織

**受講料** ¥44,000



マシン実習  
マシンを使用しながらの研修



グループ演習  
グループ演習を中心とした研修



レクチャ  
座学による研修



eラーニング  
インターネット接続による自己学習



自習テキスト  
自習書による独習

# カーボンニュートラル

環境意識の醸成から、排出量の見える化、電力・燃料技術の理解、政策・金融・地域の動向、循環型経済の実践例などを体系的に学ぶことで、実現に向けた多面的な知識と視点を修得できます。

## カーボンニュートラル

### レベル1

カーボンニュートラルの基礎知識を概略から学ぶコース

#### GXE001 eラーニング

カーボンニュートラルの全体像  
—自分事として考えるための基礎知識— (Aidemy社)

音声有 | 説明文有 | 5 時間

#### GXE002 eラーニング

カーボンニュートラルに向けたアプローチー企業における見える化と先行事例— (Aidemy社)

音声有 | 説明文有 | 4.5 時間

### レベル2

ご自身の業務にあわせて深めたい知識を選択

CO2削減の具体策を知りたいなら…

#### New

#### GXE005 eラーニング

Scope1, 2に効く!電力に関わるCO2削減策の選び方—グローバル潮流の理解から適切な意思決定へ— (Aidemy社)

音声有 | 説明文有 | 2.5 時間

エネルギーの技術動向を知りたいなら…

#### New

#### GXE006 eラーニング

カーボンニュートラルへのアクション  
—業種編:エネルギーの技術トレンド— (Aidemy社)

音声有 | 説明文有 | 2.5 時間

地域で脱炭素を進めるなら…

#### New

#### GXE007 eラーニング

カーボンニュートラルへのアクション  
—業種編:地域社会・中堅企業— (Aidemy社)

音声有 | 説明文有 | 2.5 時間

車業界の脱炭素動向を把握したいなら…

#### New

#### GXE008 eラーニング

カーボンニュートラルへのアクション  
—業種編:自動車業界— (Aidemy社)

音声有 | 説明文有 | 2.5 時間

### レベル3

レベル1	: 国内外におけるGXの背景を理解したい方、GXの意味や実現するために企業がすべきことを把握したい方。GXを自分事として捉え行動に移すためのマインドセットやスタンスを身につけたい方。【リテラシーレベル】
レベル2	: GXの最新動向（国内外の法令や制度、GX実現手法、関連技術等）を理解し自部門で必要な対応を自走したい方。お客さまとのGXに関する対話を通じ自社製品・サービスを提案したい方。 部門横断での連携や顧客・地域との協創を通じたGX事業創生の勘所をつかみたい方。【ベーシックレベル】
レベル3	: 自社または自部門の事業計画／環境行動計画の達成をリードする立場にあって、中核となりGXを推進したい方。顧客提案／事業戦略立案をリードする立場にあって、GX関連の新規事業開発や既存ソリューションにGX要素を付加価値として組み込むことを求められている方もしくは将来必要とする方。【アドバンスレベル】

## eラーニング / コースコード GXE001



**<eラーニング>**  
カーボンニュートラルの全体像  
—自分事として考えるための基礎知識— (Aidemy社)

温室効果ガス(GHG)による地球温暖化や気候変動を実感する機会が増えていますが、日本国内では、GX啓発活動および対策検討について、着手段階に留まっています。このコースでは、カーボンニュートラルの全体像を学んだ後に、投資家の要請(ESG投資)とデンマーク国民・消費者の意識からカーボンニュートラルの現在地を把握することで、ビジネスパーソンおよび市民の両方の立場からカーボンニュートラルを自分事として考えるための基礎知識を修得します。

- 到達目標**
- カーボンニュートラルの全体像、必要性について説明できる。
  - 政府や自治体、企業や投資家、市民のそれぞれの視点からみたカーボンニュートラルに対する捉え方、関心について説明できる。

- 対象者**
- カーボンニュートラルに関心のある方。
  - カーボンニュートラルに関わるビジネス、業務に今後関わろうと考えている方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- カーボンニュートラルの全体像
  - 投資家の要請
  - デンマーク国民の環境意識

**受講料** ¥74,800

## eラーニング / コースコード GXE002



**<eラーニング>**  
カーボンニュートラルに向けたアプローチ  
—企業における見える化と先行事例— (Aidemy社)

世界各国や日本国政府の脱炭素目標の達成には、企業における取り組みの具体化が急務です。このコースでは、カーボンニュートラルのはじめの一歩となる温室効果ガス(GHG)排出量の見える化について学んだ後に、日本国内外の取組みを概観することで、カーボンニュートラルに向けたアプローチの一端を理解します。

- 到達目標**
- CO2排出量に関する基本的な考え方、算出や可視化の方法の概要を説明できる。
  - GX(グリーントランクスフォーメーション)に関わるビジネス事例の類型を学び、自事業構想の着眼点を説明できる。
  - 電力およびエネルギー業界におけるカーボンニュートラルに対する取り組みの概要を説明できる。

- 対象者**
- カーボンニュートラルに関する事業企画・立案に従事される方。
  - カーボンニュートラルに係る技術や取組みを把握したい技術職および営業職の方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- GHGプロトコルとCO2排出量可視化
  - 先行事例
    - 日本国内におけるGX
    - 電力の脱炭素化
    - 日本国外におけるカーボンニュートラル

**受講料** ¥90,200

## eラーニング / コースコード GXE005



**<eラーニング>Scope1, 2に効く!  
電力に関わるCO2削減策の選び方**  
—グローバル潮流の理解から適切な意思決定へ— (Aidemy社)

日立グループのInspire2027では、ハーモナイズドソサエティの実現に向けて、年1億トンの温室効果ガス排出削減貢献をめざしています。

このコースでは、電力分野のカーボンニュートラルに関して、グローバルな潮流や日本国内の動向を学びます。電力の需要側と供給側の双方の施策を体系的に把握しながら、エネルギーミックスの方針、使用量を低減するための方法、さらにはカーボンオフセットの活用方法等を理解することによって、Scope1およびScope2におけるCO2削減策を多角的かつ合理的に考えることができます。

特に、フロンティア業務に従事している方は、カーボンニュートラルの施策を提案する際の前提知識を得ることによって、お客様との信頼関係構築が容易となり、ニーズに応じた施策を提案できるようになります。また、サステナビリティ部門や調達部門に配属される方は、自社のカーボンニュートラルを進めるための基礎知識を得ることができます。

このコースを通じて、カーボンニュートラルの実現に向けた具体的なアクションを学び、持続可能な未来を共に築いていきましょう。

- 到達目標**
- 電力業界における脱炭素の方向性を説明できる。
  - カーボンニュートラルを見据えたエネルギーミックスの方針を説明できる。
  - 電力の需要側・供給側の各プレイヤーの脱炭素とビジネスチャンスを説明できる。

- 対象者**
- お客様のカーボンニュートラルを支援するフロント部門(営業・事業部など)の方。
  - 自社のカーボンニュートラルを推進するステナリティ部門、調達部門の方。
  - 今後、上記の関連部門へ所属、もしくは関連業務を担当する可能性・意思をお持ちの方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- 電力業界における脱炭素の方向性
  - カーボンニュートラルを見据えたエネルギーミックスの方針
  - 電力の需要側・供給側の双方で進める脱炭素と課題

**受講料** ¥46,200

## eラーニング / コースコード GXE006

## New



**<eラーニング>**  
カーボンニュートラルへのアクション  
—業種編：エネルギーの技術トレンド— (Aidemy社)

エナジー事業を主力4事業の1つとする日立グループにとって、脱炭素社会の実現に向けて果たすべき役割は益々重要になっています。

エネルギー転換の絶対的な解が無い中で、我々は様々な選択肢を理解して、顧客提案に備える必要があります。

このコースで学ぶ「洋上風力発電」と「カーボンニュートラル液体燃料(バイオ燃料・合成燃料)」は、エネルギーの供給と利用の両面で期待されている技術です。

再生可能エネルギーの1つ洋上風力発電は、大規模かつ安定的な電力供給源として注目されています。既に、日立エナジーをはじめとするグループ各社が複数の洋上風力発電プロジェクトに関与しています。

一方、航空・海運・重機などの電動化が難しい分野において、カーボンニュートラル燃料は化石燃料に代わる選択肢の1つです。これらの理解と同時に、エネルギーの生産から利用までの全体像を把握することで、再生可能エネルギー由來の電力を利用して合成燃料を製造する「Power-to-X」のような新たな価値創出の視点を持つことが可能になります。

- 到達目標**
- 洋上風力発電の基本的な仕組み、構成要素を説明できる。
  - カーボンニュートラル液体燃料が求められる背景と現状・課題を説明できる。
  - それぞれのグローバルな動向を説明できる。

- 対象者**
- エネルギー・環境分野の横断的な専門性を志向する方。
  - GX(グリーントランクスフォーメーション)戦略に関わる企画職、マネージャーの方。
  - 社会インフラ全体を俯瞰するシステムエンジニア(送電網、エネルギー供給、モビリティ、産業機器など)と提案する営業職の方。
  - 今後、上記の関連部門へ所属、もしくは関連業務を担当する可能性・意思をお持ちの方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- 洋上風力発電の基礎知識、市場環境とビジネストレンド
  - カーボンニュートラル液体燃料の基礎知識と、普及に向けた国内外の動き

**受講料** ¥46,200

## eラーニング / コースコード GXE007

## New



**<eラーニング>**  
カーボンニュートラルへのアクション  
—業種編：地域社会・中堅企業— (Aidemy社)

カーボンニュートラルの実現に向けて、金融機関が取引先企業に脱炭素化を促したり、地方公共団体が地域の脱炭素化を主導したりする試みが全国的に広がっています。これらの変化は、日立グループが展開する多様な業種・地域にまたがる事業に直接的な影響を及ぼすとともに、強みを活かした新たな価値創出の機会でもあります。

このコースは、日本国内の動向を把握し、戦略的に対応するための知識を得ることを目的としています。

特に、金融機関による脱炭素化事業への融資や地方公共団体が主導する取り組みは、再生可能エネルギーの導入、エネルギー管理・デジタル化といった、日立が長年培ってきた技術や脱炭素ソリューションの適用先になり得ます。

このコースを通じて日本国内の動向を共有することによって、営業・事業企画・調達・地域連携・サステナビリティなどの部門間での連携が促進され、事業機会が高まります。変化をチャンスに変えるための情報収集にご活用ください。

- 到達目標**
- カーボンニュートラルにむけて金融機関に求められる役割を説明できる。
  - 地域脱炭素化の背景や取組みを説明できる。
  - 中堅企業の脱炭素化の取組みと地域金融の働きを説明できる。

- 対象者**
- 顧客企業への提案活動を担う営業・事業部などフロント部門の方。
  - 地域連携や自治体との協業を推進する部門の方。
  - サプライチェーン全体の脱炭素を推進する調達・サステナビリティ部門の方。
  - 金融機関や自治体との連携を担うパートナーシップ部門の方。
  - 今後、上記の関連部門へ所属、もしくは関連業務を担当する可能性・意思をお持ちの方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- カーボンニュートラルにむけて金融機関に求められる役割
  - 地域脱炭素化の背景や取組み
  - 中堅企業の脱炭素化の取組みと地域金融の働き

**受講料** ¥46,200

## eラーニング / コースコード GXE008

## New



**<eラーニング>**  
カーボンニュートラルへのアクション  
—業種編：自動車業界— (Aidemy社)

100年に一度の大変革が起こっている自動車産業でも、脱炭素化は重要な課題であり、カーボンニュートラルの実現のカギを握っていると目されています。自動車産業の温室効果ガス排出量は世界の約15%を占め、世界の新車販売における内燃機関車が電動化されれば、最大90%のCO2削減が見込まれるととも言われています。

自動車産業の大変革は、エネルギー、IT、物流など多くの産業に波及します。社会イノベーション事業を通じて、グリーントランクスフォーメーションのグローバルリーダーをめざす日立グループにとって、自動車業界の動向を把握することは、今後の事業戦略やパートナーシップ技術開発の方向性を考える際の一助になります。

このコースでは、自動車産業における脱炭素の潮流と各国の政策、さらに完成車メーカー・部品サプライヤー・蓄電池、物流業界などの最新動向を学びます。電動化や自動運転の進展により産業構造が大きく変わるもの、変化を先取りすることによって、事業機会が高まるでしょう。変化をチャンスに変えるための情報収集にご活用ください。

- 到達目標**
- 自動車業界における脱炭素の潮流を説明できる。
  - 各国政府における自動車×脱炭素の取り組みと思惑を説明できる。
  - 自動車業界／関連業界における打ち手の方向性を説明できる。

- 対象者**
- 社会イノベーション事業に関わる企画・戦略部門(特に自動車業界向け)の方。
  - 営業・事業部調達・SCM部門(特に自動車業界やその周辺産業を顧客・パートナーに持つ部門)の方。
  - 研究開発・技術開発部門の方(特にエネルギー・蓄電池・制御技術など)。
  - 今後、上記の関連部門へ所属、もしくは関連業務を担当する可能性・意思をお持ちの方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
- 自動車業界における脱炭素の潮流
  - 各国政府における取り組みと思惑
  - 自動車業界／関連業界における打ち手の方向性

**受講料** ¥46,200



マシン実習  
マシンを使用しながらの研修



グループ演習  
グループ演習を中心とした研修



レクチャ  
座学による研修



eラーニング  
インターネット接続による自己学習



自習テキスト  
自習書による独習

# サーキュラーエコノミー

サーキュラーエコノミーの基本概念とEU・日本における政策や実践例を通じて持続可能なビジネスへの応用可能性を探ります。グローバルな潮流を踏まえ自身の業務にどう取り入れるかを考える視点を養います。

## サーキュラーエコノミー

### レベル1

### レベル2

### レベル3

#### New

##### GXE004 eラーニング

サーキュラーエコノミーの全体像  
リニア型ビジネスから循環型ビジネス  
へのパラダイムシフト（Aidemy社）

音声有 説明文有 | 1.5 時間

- レベル1 : 国内外におけるGXの背景を理解したい方、GXの意味や実現するために企業がすべきことを把握したい方。GXを自分事として捉え行動に移すためのマインドセットやスタンスを身につけたい方。【リテラシーレベル】
- レベル2 : GXの最新動向（国内外の法令や制度、GX実現手法、関連技術等）を理解し自部門で必要な対応を自走したい方。お客さまとのGXに関する対話を通じ自社製品・サービスを提案したい方。部門横断での連携や顧客・地域との協創を通じたGX事業創生の勘所をつかみたい方。【ペーシックレベル】
- レベル3 : 自社または自部門の事業計画／環境行動計画の達成をリードする立場にあって、中核となりGXを推進したい方。顧客提案／事業戦略立案をリードする立場にあって、GX関連の新規事業開発や既存ソリューションにGX要素を付加価値として組み込むことを求められている方もしくは将来必要とする方。【アドバンスレベル】

#### eラーニング コースコード GXE004

#### New



くeラーニング＞サーキュラーエコノミーの  
全体像－リニア型ビジネスから循環型  
ビジネスへのパラダイムシフト（Aidemy社）  
1.5時間

現代社会は、環境問題や資源の枯渇といった深刻な課題に直面しています。これらの問題に対処するためには、持続可能な経済モデルへの転換が不可欠です。

サーキュラーエコノミーは、日立が掲げる環境ビジョンの3つのキーワードの1つで、資源の再利用やリサイクルを促進し、廃棄物を最小限に抑えることにより、持続可能性と経済的利益の両立を図る新しい経済の形態です。しかし、この理念を実現するためには、企業の積極的な取り組みが求められます。

このコースでは、サーキュラーエコノミーの基本的な考え方を学び、EUの政策がめざすサーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを通じて、実際のビジネスにどのように適用できるかを理解します。さらに、日本におけるサーキュラーエコノミーの実践例を学び、自分事として考える機会を得ます。

この研修を通じて、持続可能な未来を築くための知識と視点を身につけ、実践的なスキルを磨いていきましょう。

- 到達目標**
- ・サーキュラーエコノミーの全体像、必要性について説明できる。
  - ・ビジネスにおいてサーキュラーエコノミーに移行する際の基本的な考え方を説明できる。

- 対象者**
- ・サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルに関心のある方。
  - ・サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルに関わる事業、業務に従事することを予定されている方、希望されている方。

**前提知識** 特に必要としません。

- 内容**
1. サーキュラーエコノミーに取り組む背景
  2. 先行する欧州の動向と具体事例
  3. サーキュラーエコノミーへ移行するための基本的な考え方

**受講料** ¥46,200



#### マシン実習

マシンを使用しながらの研修



#### グループ演習

グループ演習を中心とした研修



#### レクチャ

座学による研修



#### eラーニング

インターネット接続による自己学習



#### 自習テキスト

自習書による独習

## 各種研修サービスに関するお問い合わせ

**東京** TEL : 03-5471-8962 FAX : 03-5471-2564

**大阪** TEL : 06-4797-7360 FAX : 06-4797-7361

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>